

令和7年度 事務事業評価シート（1）

〔令和6年度事務事業〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	多胎児家庭外出支援事業			事業番号	014-141
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援			
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
		施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
		寄与するKPI	無	取組	—			
2	関連計画	堺市こども計画						
3	事業開始年度	令和 5 年度		点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠	堺市多胎児家庭外出支援事業実施要綱（事業実施までに施行予定）						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁・各区				
6	事業の対象	0歳から2歳の多胎児を養育する家庭	対象数	約280	単位	世帯
7	事業の目的	多胎児家庭に対し、外出支援を行うことで行政・地域・医療等とつながりやすく、多胎児家庭の育児の負担感・孤立感を減少し、養育環境の安定を図る。				
8	事業内容	市内に居住する0～2歳の多胎児の養育者を対象とし、こどもとの移動に利用したタクシーの料金を申請者へ給付する。申請時に親子の心身の健康状態や養育環境をアンケートにて確認し、面談等を行うことで支援が必要な家庭に対し、適切なサービス提供に結びつける。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容					
9	主な支出先	市内居住の0～2歳の多胎児の養育者				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標							
	多胎児家庭の育児の負担感・孤立感の減少							
	当該目標を設定した理由	タクシー料金を助成することにより、多胎児家庭の外出支援を行い、育児の負担感・孤立感の軽減を図る。						
	目標に対する実績	—						
12	活動指標	単位	実績		目標			
	「事業を利用することにより、外出の頻度は増えましたか」という質問に、「はい」と回答された方の割合	%	令和5年度	100	令和6年度	100	令和7年度	100
			実績値	81	90			
			達成率	81%	90%			
	当該指標を選定した理由	利用者アンケートにより多胎児家庭の外出頻度が増えたかどうか成果を確認できるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	利用者アンケートの回答							

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	多胎児家庭外出支援事業	事業番号	014-141
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	829	6,010	824	6,055
13 財源内訳	国支出金	0	0		0
	府支出金	0	805	6,010	824
	市債	0	0	0	
	その他 ()	0	0	0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	
	一般財源	0	24	0	0
14 人件費 (b)	0	2,690	1,870	1,870	1,980
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	0	3,519	7,880	2,694	8,035

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R6	R7		
16 事業費内訳	多胎児家庭外出支援	R6 決算	763	0		R6	決算	
		R7 予算	5,700	0		R7	予算	
	通信運搬費・郵便料	R6 決算	0	0		R6	決算	
		R7 予算	155	0		R7	予算	
	印刷製本費	R6 決算	61	0		R6	決算	
		R7 予算	200	0		R7	予算	
		R6 決算				R6	決算	
		R7 予算				R7	予算	
	R6 決算				R6	決算		
	R7 予算				R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
		① 利用世帯数	65
② 上記①にかかる年間経費	千円	3,519	2,694
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	54,139	45,661
算出についての説明等		年間経費については、年間経費に人件費を加えたもの	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和5年度と比べ、利用世帯数は横ばいであった。「事業を利用することにより、外出の頻度は増えましたか」という質問に、「はい」と回答された方の割合は90%以上に増加し、高い満足度を維持しており、多胎児家庭に対する外出を支援することができた。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	利用者アンケートでは、事業を利用することで外出頻度が増えたと回答された世帯が90%あり高い満足度である。多胎児世帯特有の移動の困難さに対応でき、安心して妊娠・出産、子育てができる環境整備に寄与している。
----	---